



世界全体の平和と安定に向けて ～ 顔の見える国際貢献

同じ巨費を投じるにせよ、世界の中で日本がイニシアティブをとる復興支援でなくてはならない。その責任者としての新藤外務大臣政務官の活躍

武力行使開始直後から連日外務省でイラク緊急対策本部を開催。大臣政務官会議では新藤政務官の発案で外務省から最新情報をリアルタイムで各省庁に配布することとした。写真は、総理官邸で会議内容を説明する新藤政務官。



イラク問題でJNNニュースボードに出演。これまでの外交努力や小泉総理の決断、日本の支援策等を紹介。復興は人的協力を含め、初期段階から積極的な役割を果たすべきとの持論を展開。

●まずはじめに、イラク戦争で生命を落とされた方々に心から哀悼を表します。
●イラクの復興は、人道支援から復興支援へと切れ目のない協力が重要です。私は、コソボ紛争をきっかけに、「日本の顔の見える国際貢献」

●外務大臣政務官として、日本の主張をしっかりと世界にアピールしたいと思っています。世界に責任を果たすために、更に活動して参ります。



「イラクの復興に向けて」

人道・復興支援へ本格的に取り組み始めた。イラク戦争が終息し、新藤外務大臣政務官はイラクの

●キューバのカストロ国家評議会議長が八年ぶりに訪日し、三月二日衆議院内にて、綿貫衆議院議長や新藤外務大臣政務官らと会談をおこなった。

カストロ議長との会談で、北朝鮮拉致・核問題について言及

「北朝鮮問題について」

●カストロ議長は、「拉致問題については初めて知った。この話が聞けただけでも本日は非常にいい機会をもてたと思う。必ず解決の道が開かれると期待します」と語った。

●この新藤代議士の発言をきっかけに、同日午後には外務省飯倉公館で行われたカストロ議長と小泉首相との会談においても拉致問題に関する更なる言及がなされ、議長は「できる限り協力する用意がある」ことを強調した。



カストロ議長に北朝鮮問題について説明

●二時間にわたり行われた同会談では、両国間の交流についてや国際平和に向けての様々な問題が話し合われた。日朝関係について話が及ぶと、拉致問題、核開発問題、不審船事案、ミサイル問題などに対して一貫して断固とした態度をとっている新藤代議士が、拉致についての詳細な経緯を説明した。

'01年1月にキューバを公式訪問した新藤代議士。カストロ議長はじめ政府要人らとすでに面識もあった。



二〇〇三年二月二十日～二十三日
アフガニスタン・カルザイ大統領を案内

●アフガニスタンのカルザイ大統領は、日本政府が開催する「アフガニスタン『平和の定着』東京会議」に出席するため日本を公式訪問した。



当日のNHKニュースより

●新藤外務大臣政務官は、二月二十日夜、政府専用機で羽田空港に到着したカルザイ大統領を出迎え、日本政府を代表し歓迎の言葉を伝えた。

●「顔の見える国際貢献」をスローガンとして積極的な外交活動・難民支援活動を展開してきた新藤代議士は、アフガニスタンの復興・難民支援にも長らく尽力してきた。

●昨年一月の「復興支援国際会議」、十二月に首都カブールで開かれた「善隣友好会議」に出席。紛争予防、地雷・不発弾の除去、難民の定住教育、保健医療など様々な問題について議論や提言をおこなってきた。

●今回の『平和の定着』東京会議には、川口外務大臣、緒方貞子アフガン支援総理特別代表、また、米、英、独、EU、国連支援ミッション及び世銀などの三十五カ国の代表と国際機関が参加。

●安定した復興と平和構築のため重要な鍵となる治安の分野をテーマに、アフガニスタンにおける元兵士の武装解除、動員解除や社会復帰等のプロセスを進めるための具体的な意見交換を行った。



昨年末にも大統領官邸(カブール)で会談

●また、会議の合い間を縫って、新藤政務官主催で、平山郁夫東京藝術大学長他、アフガニスタン関係の学識経験者やNGO関係者を招いて、一行を歓迎する昼食会が行われた。

再会を祝し、2時間半に及ぶ懇談をもった。その中で、来年3月予定の公共輸送バス供与事業に先立ち、中古バス・救急車・消防車等の供与事業の考えを新藤政務官が提言。大統領の同意を得て話が進められることになった。

今回の大統領来日に際して、日本政府は2度の食事を設けた。ひとつは小泉総理主催の夕食会であり、もうひとつは新藤政務官主催の昼食会。新藤政務官は、昨年末のアフガニスタン訪問の際に大統領はじめアブドラ外相ら政府要人と会談しており、



二〇〇三年二月二十六日
ODA総合戦略会議で緒方貞子さんと再会

●第八回ODA総合戦略会議が、外務省飯倉公館にて二月二十六日に開催され、川口大臣とともに新藤外務大臣政務官が出席した。

●同会議は、ODAへの国民参加を具体化し、国別援助計画の策定等を通じてODA調整官庁としての外務省の機能強化を図ることを目的に、昨年六月に設置されたもの。

●今回は、緒方貞子・人間の安全保障委員会共同議長も出席。活発な意見交換が行われ、引き続き政府開発援助大綱の見直しについて自由討議等が行われた。



新藤代議士が緒方貞子氏と会うのは今回で2度目。'99年8月、党コソボ難民支援対策の責任者として、当時国連難民高等弁務官の緒方氏と日本のコソボ支援について協議。神戸震災で使用され不要となった仮設住宅500戸を贈呈した。既に面識のある二人だけに、今回もスピーディな意思交換が行われた。

最新の活動はホームページでご覧いただけます。
また、皆様のご意見も教えてください。



H P <http://www.sainet.or.jp/~shindo>
e-mail shindo@sainet.or.jp